

浜田林業部トピックス(8月号)

TOPICS 1

コンテナ苗生産の巡回指導を実施しました！

8月6日(火)にコンテナ苗生産の巡回指導を行いました。

巡回時には、苗木の高さや根の状態といった生長状況や、コンテナ培土の水分量・温度・日射などの環境のほか、病害虫被害が発生していないかを確認します。

特に夏場は病害虫被害や高温障害などが発生しやすいため、早期発見に努めるとともに、薬剤散布等による被害の予防や防除対策の迅速な実施が重要です。

当日は、春に播種した苗木の高さが25cm程度となっており、大きな病害虫被害もなく、順調に生長していることが確認できました。

今年の秋から来年の春の出荷に向けて、引き続き定期的な巡回指導を続けていきます。

今後も生産者の皆さまと連携し、良質で安定したコンテナ苗生産が行われるよう全力でサポートしていきます。



ハウス内の生育状況 (R5秋播種分)



苗木の生育状況確認

コンテナ苗について

コンテナ苗とは、樹脂製の特殊な栽培用コンテナで育成され、培土と根が一体化した「根鉢」を持つ苗木です。根がむき出しの従来の裸苗と比べ、根鉢がついていることで乾燥に強く、根付きも良いため、時期を問わず植栽をすることができます。植栽時期を調整しやすいことから、伐採後、下草が生い茂る前に連続して植栽することができ、再生林の低コスト化に大いに貢献します。

